

2008年漁業センサス調査票(案)

(左又は右下)

頁

1	海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・・・	1
2	〃	漁業経営体調査票Ⅱ（会社用）・・・・・・・・・・	9
3	〃	漁業経営体調査票Ⅲ（漁業協同組合等用）・・・・・・・・・・	17
4	〃	漁業経営体調査票Ⅳ（共同経営用）・・・・・・・・・・	23
5	〃	漁業管理組織調査票・・・・・・・・・・	29
6	〃	海面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	33
7	内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・・・	37
8	〃	内水面漁業経営体調査票Ⅱ（会社・団体用）・・・・・・・・・・	45
9	〃	内水面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	51
10	流通加工調査	魚市場調査票・・・・・・・・・・	55
11	〃	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票・・・・・・・・・・	57



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（個人経営体用）」の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
---------------------------------	--

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号	1：共同経営に参加 2：共同経営に不参加
市区町村名		漁業地区名		漁業集落名			

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員				うち、満14歳以下の世帯員			
701	男								
702	女								

2 家としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	専業	兼業	
		漁業が主	他が主
711	1	2	3

兼業の場合は、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成5年10月31日午前零時までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業を行った人をのりなく記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

前名 (経営主(本人)との 続き柄やABC等の 記号でもかまいません。)	平成20年11月1日現在の満年齢														男女の別	
	15 ~ 19 歳	20 ~ 24 歳	25 ~ 29 歳	30 ~ 34 歳	35 ~ 39 歳	40 ~ 44 歳	45 ~ 49 歳	50 ~ 54 歳	55 ~ 59 歳	60 ~ 64 歳	65 ~ 69 歳	70 ~ 74 歳	75 歳 以上	男	女	
	い ず れ か に ○ 印														い ず れ か に ○ 印	
731	経営主	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
732	漁業を行った人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
733		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
734		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
735		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
736		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
737		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
738		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2

3 自家漁業の後継者の有無

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
721	1	2

→ (2) 過去1年間の漁業以外の仕事について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	自 営 業				勤 め
	水産加工業	民 宿	遊 船 業	漁 業	
712	1	2	3	4	5

(3) 過去1年間の延べ利用者数を記入してください。
万 千 百 十 (人)

民 宿	713				
遊 船 業	714				

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
現在、自家漁業を行っていないなくてもかまいません。

6ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

過 去 1 年 間 に し た 仕 事																			
数	自家漁業の海上作業日	種類	数が最も多かった漁業	の漁業種類で使った漁船の大きさ			10月下旬に行った自家漁業の海上作業	自家漁業の陸上作業	始めた人	過去1年以内に漁業を卒業した人	今年3月に学校を卒業した人	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	日数が最も多い仕事	日数の多い方		
				漁船非使用	10トン未満	10トン以上											自家漁業	ほかの仕事	
(日)	全国漁業種類番号を記入	いずれかに印																いずれかに印	
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2
				1	2	3												1	2

海上作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

- 1 : 自家漁業
- 2 : 自家漁業以外の自営業
- 3 : 共同経営の漁業の仕事
- 4 : 雇われて漁業の仕事
- 5 : 雇われて漁業以外の仕事

Ⅱ 自家漁業に雇った人

1 海上作業に雇った人数

(1) 11月1日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。(人)

計 (+)	日本人 (+ +)	居住地			うち、過去 1年以内に 漁業を始め た人	外国人
		同一 市町村	その他 の県内	県外		
201						

過去1年以内に漁業を始めた人とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

(2) の日本人のうち、過去1年間に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。(人)

計		海上作業を行った人数				うち、居住地 が同一市町村			
		男		女		男		女	
15 ~ 19 歳	211								
20 ~ 24 歳	212								
25 ~ 29 歳	213								
30 ~ 34 歳	214								
35 ~ 39 歳	215								
40 ~ 44 歳	216								
45 ~ 49 歳	217								
50 ~ 54 歳	218								
55 ~ 59 歳	219								
60 ~ 64 歳	220								
65 ~ 69 歳	221								
70 ~ 74 歳	222								
75 歳以上	223								

2 陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

計	231			
男	232			
女	233			

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
（借りた漁船も含めます。）

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数を記入してください。（借りている漁船も含めます。）

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

	無動力漁船	船外機付漁船
302		
303		

(隻)

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)						11月1日現在で 持っている動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)						11月1日現在で 持っている		過去1年間の 出漁日数	販売金額が最も 多かった漁業種類
	(トン) 小数点						い	づ		
401						.	1	2		
402						.	1	2		
403						.	1	2		
404						.	1	2		
405						.	1	2		
406						.	1	2		
407						.	1	2		
408						.	1	2		
409						.	1	2		
410						.	1	2		

借りている漁船は含めません。
貸して

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

6ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去 1 年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

[illegible][illegible]

養殖を行っていない場合は8ページの「4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

借りている施設の面積
も含めます。

借りている施設の面積も含めます。		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

・(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521				
----	-----	--	--	--	--

百十(m^2)

平均面積	522					
------	-----	--	--	--	--	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523							
-----	--	--	--	--	--	--	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。

台 数 531

万 千 百 十 (台)

平均面積 532

万 千 百 十 (m²)

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としててください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591										

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、電話番号の記入をお願いします。

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅱ（案）
（会社用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（会社用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

統計調査員	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

本社名

本社所在地

都	道	市
府		区
県		村

事業所名

2～6ページは、事業所について記入してください。

I 事業所の概要

1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(旧有限会社は、株式会社に含めます。)

本 所 ・ 支 所 の 区 分			会 社 の 種 類		
単独事業所	本所・本社	支所・支社	株 式	その他	
801	1	2	3	1	2

2 11月1日現在の従業者数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業者数を記入してください。

(本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業者数ではなく、本所・本社のみ
の従業者数を記入してください。)

(人) 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

II 漁業の従業者

1 海上作業の従業者数

(1) 11月1日現在の海上作業の従業者数を記入してください。

計	201			
日 本 人	202			
居 住 地				
同 一 市 町 村	203			
その他の県内	204			
県 外	205			
うち、新規就業者	206			
外 国 人	207			

新規就業者とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者(過去に漁業に従事していた、再び漁業を始めた者を含む。)
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者(他の産業に従事等)
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者(学生等)

(2) の日本人のうち、過去1年間(平成19年11月1日～平成20年10月31日)に30日以上海上作業に従事した人数を記入してください。

		(人)			
		海上作業従業者数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

2 陸上作業の従業者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従業者数を記入してください。

計	231			
男	232			
女	233			

Ⅲ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で保有している隻数を記入してください。(借りている漁船も含めます。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

無動力漁船	302	(隻)
船外機付漁船	303	

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)				11月1日現在で 保有している動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)			11月1日現在の保有の有無	過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類	全国漁業種類番号を記入	
	(トン)	小数点	い づ れ か に 印	保有している				保有していない
401		.	1 2					
402		.	1 2					
403		.	1 2					
404		.	1 2					
405		.	1 2					
406		.	1 2					
407		.	1 2					
408		.	1 2					
409		.	1 2					
410		.	1 2					

借りている漁船は含めません。貸している漁船は含めます。

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の 水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台 数 521

百十(m²)

平均面積 522

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。

台 数 531

万 千 百 十 (台)

平均面積 532

万 千 百 十 (m²)

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

I の 1 の本所・支所の区分が「本所・本社」の場合に記入してください。

V 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業員数

万 千 百 十 (人)

計	803								
常時従業員	804								
そ の 他	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

(株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。)

	100 万円未満	100 万 ~	200 万 ~	500 万 ~	1,000 万 ~	3,000 万 ~	5,000 万 ~	1 億 ~	10 億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

(1) 過去 1 年間に行った事業が漁業のみの場合は「 2」、他の事業も行った場合は「 1」に○印を記入してください。

	兼 業	専 業
807	1	2

「専業」の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。

(2) 過去 1 年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25% 未満	25 ~	50 ~	75% 以上
808	1	2	3	4

(3) 過去 1 年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。
そのうち販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

			事業 所 の 数	「か つ た も の 1 つ に 」 を 記 入	販 売 金 額 が 最 も 多 く な っ た も の
製造業	水産加工業	811			
	そ の 他	812			
卸売・小売業、飲食業		813			
サ ー ビ ス 業		814			
その他	冷蔵倉庫業	815			
	そ の 他	816			

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数)

817		
-----	--	--

4 事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

	漁 業	821		
製造業	水産加工業	822		
	そ の 他	823		
卸売・小売業、飲食業		824		
サ ー ビ ス 業		825		
その他	冷蔵倉庫業	826		
	そ の 他	827		

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅲ（案）
（漁業協同組合等用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（漁業協同組合等用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県（支庁） 市区町村 漁業地区 調査区 漁業集落 客体番号

--	--	--	--	--	--	--	--

経営組織コード

- 4：漁業協同組合
5：漁業生産組合
7：その他

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

代表者氏名

--	--	--	--

I 直接行った漁業の従事者

1 海上作業の従事者数

(1) 11月1日現在の海上作業の従事者数を記入してください。

(人)

計 (+)	日本人 (+ +)	居住地			うち、 新 規 就 業 者	外国人
		同 一 市 町 村	その他 の 県 内	県 外		
201						

数字は、算用
数字で1マスに
1字ずつ右に詰
めて記入してく
ださい。

新規就業者とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・ 他の仕事の主であったが、漁業が主となった者（他の産業に従事等）
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者（学生等）

(2) の日本人のうち、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に30日以上海上作業に従事した人数を記入してください。

(人)

計		海上作業を行なった人数		うち、居住地 が同一市町村	
		男	女	男	女
計	211				
15～19歳	212				
20～24歳	213				
25～29歳	214				
30～34歳	215				
35～39歳	216				
40～44歳	217				
45～49歳	218				
50～54歳	219				
55～59歳	220				
60～64歳	221				
65～69歳	222				
70～74歳	223				
75歳以上	224				

2 陸上作業の従事者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従事者数を記入してください。

(人)

計	231		
男	232		
女	233		

Ⅱ 漁船

漁船を使用していない場合は次のページへ進んでください。

1 過去1年間に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

使用した漁船のうち、11月1日現在で保有している隻数を記入してください。(借りている漁船も含めます。)

動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
1	2	3

無動力漁船	船外機付漁船
302	303

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)				11月1日現在で 保有している動力漁船			
	ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)				11月1日現在の保有の有無		過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類
	(トン) 小数点				保有している	保有していない		
	い ず れ か に 印				(日)	全国漁業種類番号を記入		
401				.	1	2		
402				.	1	2		
403				.	1	2		
404				.	1	2		
405				.	1	2		
406				.	1	2		
407				.	1	2		
408				.	1	2		
409				.	1	2		
410				.	1	2		

借りている漁船は含めません。貸している漁船は含めます。

出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅲ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の 水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台数	521	
----	-----	--

平均面積	522	
------	-----	--

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523	
-----	--

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。

台数	531								
万 千 百 十 (台)									

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

533									
万 千 百 十 (m)									

養殖している養殖場の面積を記入してください。

534									
万 千 百 十 (㎡)									

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

541									
万 千 百 十 (m)									

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

551									
万 千 百 十 (㎡)									

（ 養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

561									
万 千 百 十 (台)									

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

571									
万 千 百 十 (台)									

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業経営体調査票Ⅳ（案）
（共同経営用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票（共同経営用）」の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

I 共同経営について

1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	現物出資のみ	出資金なし又は 10万円未満	10 万 ～	30 万 ～	50 万 ～	100 万 ～	200 万 ～	500 万 ～	1,000 万 ～	3,000 万 円 以上
831	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

2 出資した人数

出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。(人)

832

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

現物出資とは、漁船や漁網などのもちよりをいいます。

II 共同経営の漁業を行った人

1 海上作業を行った人数

(1) 11月1日現在の海上作業を行った人数を記入してください。(人)

(2) の日本人のうち、過去1年間(平成19年11月1日～平成20年10月31日)に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。(人)

計	201			
日本人	202			
居住地				
同一市町村	203			
その他の県内	204			
県外	205			
うち、過去1年以内に漁業を始めた人	206			
外国人	207			

過去1年以内に漁業を始めた人とは、調査期日前1年間に、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する者です。

- ・ 新たに漁業を始めた者(過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。)
- ・ 他の仕事为主であったが、漁業が主となった者(他の産業に従事等)
- ・ 普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった者(学生等)

2 陸上作業を行った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に行った人数を記入してください。(人)

計	231			
男	232			
女	233			

		海上作業を行った人数				うち、居住地 が同一市町村			
		男		女		男		女	
計	211								
15～19歳	212								
20～24歳	213								
25～29歳	214								
30～34歳	215								
35～39歳	216								
40～44歳	217								
45～49歳	218								
50～54歳	219								
55～59歳	220								
60～64歳	221								
65～69歳	222								
70～74歳	223								
75歳以上	224								

- 1 過去1年間に使用した漁船
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)
- 2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数
使用した漁船のうち、11月1日現在で持っている隻数を記入してください。(借りている漁船も含めます。)

	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3

↓

無動力漁船	302	
船外機付漁船	303	

(隻)

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船とし、他は無動力漁船としてください。

3 動力漁船
【動力漁船についてのみ記入】

過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船も含めます。)							11月1日現在で 持っている動力漁船			
ト ン 数 (小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)						11月1日現在で		過去1年間の 出漁日数	販売金額が最 も多かった漁 業種類	
						持っ てい る	持っ てい ない			
(トン) 小数点 ↓						い ず れ か に ○ 印		(日)	全国漁業種類 番号を記入	
401					.	1	2			
402					.	1	2			
403					.	1	2			
404					.	1	2			
405					.	1	2			
406					.	1	2			
407					.	1	2			
408					.	1	2			
409					.	1	2			
410					.	1	2			

↑

↑

出漁日数の数え方

- 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- なお、遊漁船業は含めません。

4ページの全国漁業種類番号で当てはまる番号を記入してください。

Ⅳ 漁業経営について

1 過去1年間に行った、すべての漁業種類に○印を付けてください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つは「①」、2番目に多かったもの一つは「②」としてください。

全国漁業種類番号

【網漁業】

底 び き 網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網 1 そうびき	103	
	沖合底びき網 2 そうびき	104	
	小型底びき網	105	
	船びき網	106	
ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
	1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき そ の 他	109	
	2 そうまき	110	
	中・小型まき網	111	
刺 網	さけ・ます流し網	112	
	かじき等流し網	113	
	その他の刺網	114	
	さんま棒受網	115	
	大型定置網	116	
	さけ定置網	117	
	小型定置網	118	
	その他の網漁業	119	

【はえ縄、釣、その他漁業】

は え 縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠洋いか釣	127	
	近海いか釣	128	
	沿岸いか釣	129	
	ひき縄釣	130	
	その他の釣	131	
	小型捕鯨	132	
	潜水器漁業	133	
	採貝・採藻	134	
	その他の漁業	135	

【海面養殖（種苗養殖含む）】

魚 類 養 殖	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	まぐろ類養殖	140	
	その他の魚類養殖	141	
	ほたてがい養殖	142	
	かき類養殖	143	
	その他の貝類養殖	144	
	くるまえび養殖	145	
	ほや類養殖	146	
	その他の 水産動物類養殖	147	
	こんぶ類養殖	148	
	わかめ類養殖	149	
	のり類養殖	150	
	その他の海藻類養殖	151	
	真珠養殖	152	
	真珠母貝養殖	153	

2 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、行った漁業種類すべてに○印を付けてください。

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

地方選定漁業種類		○ 印 欄
種類名	番号	

養殖を行っていない場合は6ページの「4 過去1年間の漁獲物・収獲物の販売金額」へ進んでください。

3 海面養殖業

11月1日現在の養殖の状況について記入してください。

(1) 魚類養殖

養殖場の施設面積と使用している面積（魚類を放養しない面積は除きます。）を記入してください。

(m²)

借りている施設の面積も含めます。

		養殖場の施設面積	うち、使用している面積
魚類養殖の合計	511		
うち、ぶり類	512		
うち、まだい	513		
うち、ひらめ	514		
陸上水槽	515		
うち、まぐろ類	516		

(2) ほたてがい養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

台数と1台の平均面積を記入してください。 百十(台)

台 数 521

平均面積 522

イ はえ縄

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)）の長さを記入してください。

万千百十(m)

523

(3) かき類養殖

当てはまる養殖方法に記入してください。

ア いかだ垂下式、簡易垂下式

イ はえ縄

ウ 地まき式、そだひび式

台数と1台の平均面積を記入
してください。

台 数 531

万 千 百 十 (台)

平均面積 532

万 千 百 十 (m²)

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

533

養殖している養殖場の面積を記入してください。

万 千 百 十 (m²)

534

(4) わかめ類養殖

幹縄（海面に水平に張って垂下連を支える縄（ロープ））の長さを記入してください。

万 千 百 十 (m)

541

(5) のり類養殖

施設の面積を平方メートル単位で記入してください。

万 千 百 十 (m²)

551

（養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。）

(6) 真珠養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

561

(7) 真珠母貝養殖

いかだ台数を記入してください。
（かご100つりを1台としてください。）

万 千 百 十 (台)

571

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		販売金額なし	100万円未満	100万～	300万～	500万～	800万～	1,000万～	1,500万～	2,000万～	5,000万～	1億～	2億～	5億～	10億円以上
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先に○印を付けてください。

そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つは「①」としてください。

	場又は荷さばき所	漁業協同組合の市場	外卸売市場	漁業協同組合以外	業者	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他
591											

調査はここで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
漁業管理組織調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業管理組織調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去5年間の場合は、平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入してください。

統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
--	--

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名
	-	-	-		

I 11月1日現在の参加漁業経営体

1 管理組織に参加している漁業経営体数を記入してください。

101					(経営体)
-----	--	--	--	--	-------

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

2 管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数を記入してください。

		(経営体)			
底びき網	小型底びき網	111			
	上記以外の底びき網	112			
船びき網		113			
刺網		114			
定置網		115			
はえ縄		116			
釣		117			
採貝・採藻		118			
その他の漁業		119			
海面養殖業		120			
上記以外の漁業		121			

3 参加漁業経営体がある地域範囲について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	1 市区 町村内	複数の 市区町村	各都道府県 内の全域	複数の 都道府県
131	1	2	3	4

Ⅱ 漁業管理

- 1 過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）に自主的な漁業管理を行った、すべての管理対象魚種に○印を付けてください。

かつお・まぐろ類	201		さわら類	213		ほたてがい	225	
さけ・ます類	202		いかなご	214		その他の貝類	226	
さば類	203		ふぐ類	215		いか類	227	
ぶり類	204		その他の魚類	216		たこ類	228	
ひらめ	205		いせえび	217		うに類	229	
かれい類	206		くるまえび	218		なまこ類	230	
すけとうだら	207		その他のえび類	219		その他の水産動物類	231	
はたはた	208		がざみ類	220		こんぶ類	232	
あなご	209		その他のかに類	221		その他の海藻類	233	
はも	210		あわび類	222		その他	234	
まだい	211		さざえ	223		魚種不特定	235	
その他のたい類	212		あさり類	224				

2 過去5年間に行った漁業管理の内容

- (1) 漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

ただし、試験的に行ったものや、継続性の無いものは除きます。

漁業資源の管理					漁場の保全・管理							
資源量の把握	漁獲（収獲）枠の設定	漁業資源の増殖	その他	漁場の保全	うち、藻場・干潟の維持管理		漁場の造成	漁場利用の取決め	漁場の監視	植樹活動、魚つき林の造成	その他	
					うち	うち、合成洗剤不使用の取組						
241	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(2) 漁獲管理の具体的な規制内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

		漁 期 の 規 制	漁 法 の 規 制	漁 船 隻 数 の 規 制	漁 船 ト ン 数・馬 力 数 の 規 制	漁 具 の 規 制	出 漁 日 数 の 規 制	操 業 時 間 の 規 制	操 業 人 員 の 規 制	漁 獲 (収 獲) サイ ズ の 規 制	漁 獲 量 (収 獲 量) の 規 制	そ の 他
法制度による規制	251	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
自主規制	252	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

3 過去5年間に行った漁業管理に係る調整について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	管理組織内の漁業 種類間の調整	漁協地区内の他の 漁業種類との調整	他の漁協地区・市 町村等との調整	遊漁との調整
261	1	2	3	4

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
海面漁業調査
海面漁業地域調査票（案）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、過去1年間で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入**してください。過去5年間の場合は、**平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入**してください。

統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
--	--

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名

I 生産条件

1 漁場環境の変化

- (1) 漁業協同組合の管轄区域内における過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）の漁業権の放棄面積について、年次別（暦年）に記入してください。

漁業権の放棄がない場合は、次ページの
「2 遊漁の状況」に進んでください。

		万 千 百 十 (m ²)							
平成15年	101								
平成16年	102								
平成17年	103								
平成18年	104								
平成19年	105								

- (2) 上記の漁業権放棄の原因について、当てはまる番号すべて○で囲んでください。
また、そのうち、主な原因について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

			埋め立て					その他の
			港湾・漁港の建設	道路建設	宅地造成	工業用地造成	その他	
当てはまる番号をすべて○で囲みます。	原因	111	1	2	3	4	5	6
当てはまる番号を一つ○で囲みます。	主な原因	112	1	2	3	4	5	6

2 遊漁の状況

- (1) 過去 1 年間 (平成19年11月 1 日 ~ 平成20年10月31日) の漁業協同組合の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	取組あり	取組なし
121	1	2

「取組なし」の場合は、へ進んでください。

「取組あり」の場合は、(2) にもお答えください。

- (2) 取組の具体的な内容について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。
(漁業協同組合単独の取組は除きます。)

資 源 保 護	資源増殖	環 境 保 全	そ
体 長 規 制	稚 魚 等 の 放 流	海 岸 清 掃	藻 場 ・ 干 潟 の 造 成 ・ 管 理
禁 止 区 域 の 設 定	そ の 他	漁 場 清 掃	そ の 他
採 捕 時 期 等 の 規 制	そ の 他	そ の 他	そ の 他
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	

「その他」の場合は、具体的に記入してください。

Ⅱ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		万 千 百 十 (人)				
漁 業 体 験	141					
魚 食 普 及 活 動	142					
そ の 他	143					

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数	年 間 利 用 者 数 万 千 百 十 (人)				
水産物直売所	151					0	0

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案）
（個人経営体用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
--	--

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県（支庁） 市区町村 漁業地域 調査区 漁業集落 客体番号 湖沼番号
□□ - □□□□ - □□□□ - □□□ - □□□□ - □□□□ □□□□

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員				うち、満14歳以下の世帯員			
701	男								
702	女								

2 家としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

711	漁業専業	兼業	
		漁業が主	他が主
	1	2	3

兼業の場合は、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成5年10月31日午前零時までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

731	経営主	平成20年11月1日現在の満年齢														男女の別	
		15 ~ 19 歳	20 ~ 24 歳	25 ~ 29 歳	30 ~ 34 歳	35 ~ 39 歳	40 ~ 44 歳	45 ~ 49 歳	50 ~ 54 歳	55 ~ 59 歳	60 ~ 64 歳	65 ~ 69 歳	70 ~ 74 歳	75 歳 以上	男	女	
		い ず れ か に ○ 印														い ず れ か に ○ 印	
731	経営主	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
732	漁業を行った人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
733		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
734		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
735		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
736		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
737		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	
738		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	

3 自家漁業の後継者の有無
当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	有	無
721	1	2

後継者とは、過去1年間に漁業を行った人のうち、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
現在、自家漁業を行っていないなくてもかまいません。

→ (2) 過去1年間の漁業以外の仕事について、
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	自 営 業	勤 め
712	1	2

(3) 民宿を行っている場合は、過去1年間の延べ
利用者数を記入してください。

			万 千 百 十 (人)
民 宿	713		

過 去 1 年 間 に し た 仕 事											
自家の湖沼漁業	うち、陸上作業	自家養殖業	自家の湖上作業と内水面養殖業の作業日数	自家漁業以外の自営業	共同経営の漁業の仕事	雇われて漁業の仕事	雇われて漁業以外の仕事	過去1年以内に漁業を始めた人	日数が最も多い仕事	方 日数の多い	
										自家漁業	ほかの仕事
当てはまる人に○印			(日)	当てはまる人に○印					下はを のま る記 入	いずれかに○印	
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2
										1	2

作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 1日のうち湖上作業と養殖業の両方の作業を行っても1日と数えます。
- ・ なお、海面及び河川の漁業と湖沼漁業の陸上作業は含めません。

- 1 : 自家漁業
2 : 自家漁業以外の自営業
3 : 共同経営の漁業の仕事
4 : 雇われて漁業の仕事
5 : 雇われて漁業以外の仕事

湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。行っていない場合は、6ページへ進んでください。

Ⅱ 湖沼漁業

1 過去1年間の湖上作業に雇った人数を記入してください。（人）

		男	女
計	201		
15～19歳	202		
20～24歳	203		
25～29歳	204		
30～34歳	205		
35～39歳	206		
40～44歳	207		
45～49歳	208		
50～54歳	209		
55～59歳	210		
60～64歳	211		
65～69歳	212		
70～74歳	213		
75歳以上	214		

2 家として、過去1年間に湖上作業を行った日数を記入してください。（日）

221

家として、湖上作業を行った日数の数え方

- ・ 1人の世帯員が湖上作業を行った場合は、その日数を記入します。
- ・ 1日のうちに、2人以上の世帯員が一緒又は別々に湖上作業を行っても1日と数えます。

3 漁業種類

(1) 過去1年間に湖沼漁業において行ったすべての漁業種類に○印を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものの一つは「①」としてください。

網漁業	底びき網・船びき網	231	
	刺網	232	
	定置網	233	
	投網	234	
	その他の網漁業	235	
その他の漁業	釣・はえ縄	236	
	採貝・採藻	237	
	籠類	238	
	その他の漁業	239	
養殖業	魚類養殖	240	
	その他の養殖	241	

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定漁業種類について○印を記入してください。

地方選定漁業種類名	地方選定漁業種類番号	○印欄

4 魚種

(1) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む）したすべてのものに○印を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものの一つは「①」としてください。

魚	こ	い	251	
	ふ	な	252	
	あ	ゆ	253	
	うぐい・おいかわ		254	
	わ	か さ ぎ	255	
	さけ・ます類		256	
	し	ら う お	257	
	う	な ぎ	258	
	は	ぜ 類	259	
類	その他の魚類		260	
貝類	し	じ み	261	
	その他の貝類		262	
動水 物 類産	え	び 類	263	
	あ	み 類	264	
	その他の水産動物類		265	
そ の 他			266	

(2) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む）したすべての地方選定魚種について○印を記入してください。

[illegible]

5 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む）の販売金額について、当てはまる番号を一つ
○で囲んでください。

271	販売金額なし	10万円未満	10万～	30万～	50万～	100万～	300万～	500万～	1,000万～	2,000万～	5,000万～	1億以上
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

6 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当
てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

	無動力漁船	漁船外機付船	動力漁船
281	1	2	3

(2) 使用した漁船のうち、11月1日現在
で持っている隻数を記入して下さい。
(借りている漁船は含め、貸している
漁船は含めません。) (隻)

(隻)

無動力漁船	282		
船外機付漁船	283		
動力漁船	284		

(3) 使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。

(トン)

285

小数点

(小数点以下1位まで記入し、小数点2位以降は切り捨ててください。)

湖沼及びその他の内水面において、養殖業を行った場合は、6～7ページを記入してください。行っていない場合は、ここで終わりです。

Ⅲ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業に雇った人数を記入してください。

		(人)					
		男			女		
計	301						
15～19歳	302						
20～24歳	303						
25～29歳	304						
30～34歳	305						
35～39歳	306						
40～44歳	307						
45～49歳	308						
50～54歳	309						
55～59歳	310						
60～64歳	311						
65～69歳	312						
70～74歳	313						
75歳以上	314						

2 過去1年間の収獲物(養殖業)の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万～	30万～	50万～	100万～	300万～	500万～	1,000万～	2,000万～	5,000万～	1億以上
3 2 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

施設面積
所有 (借入を含む。)するすべての施設面積

使用面積
通常使用している面積 (魚類を放養していない施設は除く。)

			施設面積 万 千 百 十 (m ²)	使用面積 万 千 百 十 (m ²)	販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
食 用 種 苗 用	に じ ま す	331			
	そ の 他 ま す 類	332			
	あ ゆ	333			
	こ い	334			
	ふ な	335			
	う な ぎ	336			
	す っ ぽ ん	337			
	海水魚種(ひらめ等)	338			
	そ の 他	339			
	ま す 類	340			
観 賞 用	あ ゆ	341			
	こ い	342			
	そ の 他	343			
	錦 ご い	344			
真 珠	き ん ぎ よ	345			
		346			

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類について○印を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	○印欄

4 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) (面)	養殖面積 万 千 百 十 (m ²)	販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
池 中 養 殖	止 水 式	351			
	流 水 式	352			
	循 環 式	353			
た め 池 養 殖		354			
網いけす養殖		355			
そ の 他 養 殖		356			

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、電話番号の記入をお願いします。
電話番号：



2008年漁業センサス
内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ（案）
（会社・団体用）

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票（会社・団体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード							組織区分
都府県 (支庁)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	湖沼番号	2：会社 3：漁業協同組合 4：漁業生産組合 5：共同経営 6：その他
市区町村名	漁業地域名	湖沼名	事業所名				

湖沼で漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。行っていない場合は、4ページへ進んでください。

I 湖沼漁業

- 1 過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の湖上作業の従業者数を記入してください。

		(人)					
		男			女		
計	201						
15～19歳	202						
20～24歳	203						
25～29歳	204						
30～34歳	205						
35～39歳	206						
40～44歳	207						
45～49歳	208						
50～54歳	209						
55～59歳	210						
60～64歳	211						
65～69歳	212						
70～74歳	213						
75歳以上	214						

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

(日)

221

- ### 3 漁業種類

- (1) 過去1年間に湖沼漁業で行ったすべての漁業種類に○印を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものの一つは「①」としてください。

- (2) 過去 1 年間に行ったすべての地方選定漁業種類について○印を記入してください。

網漁業	底 び き 網 ・ 船 び き 網	231	
	刺	網 232	
	定	置 網 233	
	投	網 234	
	そ の 他 の 網 漁 業	235	
その他の漁業	釣 ・ は え 縄	236	
	採 貝 ・ 採 藻	237	
	籠	類 238	
	そ の 他 の 漁 業	239	
養殖業	魚 類 養 殖	240	
	そ の 他 の 養 殖	241	

[illegible]

(1) 過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む）したすべてのものに○印を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものの一つは「①」としてください。

(2) 過去1年間に漁獲(湖沼養殖の収獲物を含む)したすべての地方選定魚種について○印を記入してください。

5 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む）の販売金額について、当てはまる番号を一つ〇で
囲んでください。

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
(借りた漁船も含めます。)

(2) 使用した漁船のうち、11月1日現在
で持っている隻数を記入して下さい。
(借りている漁船は含め、貸している
漁船は含めません。) (隻)

(3) 使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。

47

湖沼及びその他の内水面において、養殖業を行った場合は、4～5ページを記入してください。行っていない場合は、ここで終わりです。

Ⅱ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業の従業者数を記入してください。

		(人)			
		男		女	
計	301				
15～19歳	302				
20～24歳	303				
25～29歳	304				
30～34歳	305				
35～39歳	306				
40～44歳	307				
45～49歳	308				
50～54歳	309				
55～59歳	310				
60～64歳	311				
65～69歳	312				
70～74歳	313				
75歳以上	314				

2 過去1年間の収獲物(養殖業)の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万～	30万～	50万～	100万～	300万～	500万～	1,000万～	2,000万～	5,000万～	1億以上
3 2 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

施設面積
所有 (借入を含む。) するすべての施設面積

使用面積
通常使用している面積 (魚類を放養していない施設は除く。)

			施設面積 万 千 百 十 (m ²)				使用面積 万 千 百 十 (m ²)				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
食 用 種 苗 用	に じ ま す	331									
	そ の 他 ま す 類	332									
	あ ゆ	333									
	こ い	334									
	ふ な	335									
	う な ぎ	336									
	す っ ぽ ん	337									
	海水魚種(ひらめ等)	338									
	そ の 他	339									
	ま す 類	340									
観 賞 用	あ ゆ	341									
	こ い	342									
	そ の 他	343									
真 珠	錦 ご い	344									
	き ん ぎ よ	345									

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類について○印を記入してください。

4 養殖方法
過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

			養殖池数 網いけす数、養殖池の区画数 (面)				養殖面積 万 千 百 十 (m ²)				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
池 中 養 殖	止 水 式	351									
	流 水 式	352									
	循 環 式	353									
	ため池養殖	354									
	網いけす養殖	355									
	その他養殖	356									

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	○印欄

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。
担当者： 電話番号：



2008年漁業センサス
内水面漁業調査
内水面漁業地域調査票（案）
平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県
(支庁)

市区町村

水系

小水系

客体番号

漁協種類コード

- 1：河川
2：湖沼
3：養殖

市区町村名

客体名

I 組合員数

11月1日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。

(人)

数字は、算用数字で1マスに1つずつ右に詰めて記入してください。

正 組 合 員	101				
准 組 合 員	102				

II 生産条件

1 漁場環境

(1) 11月1日現在に漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	えん てい 堰 堤	うち、 魚道つき	魚礁・魚 巢ブロッ ク	産卵場
111	1	2	3	4

堰堤... 水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入り口に設けられた仕切り。

魚礁・魚巢ブロック... 河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入、あるいは設置された水産動植物の生息場。

産卵場... 水産動植物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水性植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置及び堆積物の除去等を行っている区画。

(2) 過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に漁業協同組合の漁場環境改善への取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	種 苗 生 産 ・ 放 流	中 間 育 成	保 護 水 面 の 管 理	産 卵 場 の 造 成 管 理	魚 道 の 管 理	魚 つ き 林 の 造 成	植 魚 つ き 樹 林 の 造 成 以 外 の 動	河 川 ・ 湖 沼 の 清 掃 活 動
121	1	2	3	4	5	6	7	8

魚つき林... 水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところや繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定された魚つき林は除く。

植樹活動... 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいう。

- (3) 過去1年間に漁業協同組合の生産した種苗の種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

放流等のために行う中間育成や
蓄養は除きます。

131	さ け ・ ま す 類								あ	こ	ふ	そ
	さ く 河 性			陸	封			性				の
	し ろ ざ け	さ く ら ま す	そ の 他	に じ ま す	あ ま ご	や ま め	い わ な	そ の 他	ゆ	い	な	他
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

- (4) 過去1年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。

				百 十 千 万 万 万(尾)				
さ け ・ ま す 類	さ く 河 性	し ろ ざ け	141					
		さ くら ます	142					
		そ の 他	143					
	陸 封 性	に じ ま す	144					
		あ ま ご	145					
		や ま め	146					
		い わ な	147					
		そ の 他	148					
あ		ゆ	149					
こ		い	150					
ふ		な	151					
う		な	ぎ	152				
そ の 他 の 魚 類			153					

				千 百 十 万 万 万 万(粒)			
わ か さ ぎ 卵	154						
そ の 他 の 卵	155						

				千 百 十(kg)			
貝	類	156					

2 遊漁の状況

(1) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁承認証の発行枚数について記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に記入してください。

(例) あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚及びこい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

		ま　　す　　類			あ　　　　　　ゆ			こい・ふな類			わ　　か　　さ　　ぎ			そ　　の　　他		
		万　千　百　十(枚)			万　千　百　十(枚)			万　千　百　十(枚)			万　千　百　十(枚)			万　千　百　十(枚)		
遊　漁 承　認　証	年　　　間	171			172			173			174			175		
	漁　期　間	176			177			178			179			180		
	1　　　　日	181			182			183			184			185		

(2) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁者への啓発・普及活動の取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	1	2	3

Ⅲ 活性化の取組

1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体で実施した場合には、それぞれに同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数			
		万千百十(人)			
漁 業 体 験	201				
魚 食 普 及 活 動	202				
そ の 他	203				

2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数	年間利用者数			
			万千百十(人)			
水 産 物 直 売 所	211					0 0

調査はここで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
流通加工調査
魚市場調査票(案)
平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的(税金の徴収等)に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年(平成20年)の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年1月1日から平成19年12月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日 ()
氏 名 :	午前・午後 時ごろに
電話番号 :	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県(支庁) 市区町村 漁業地区 客体番号
[] - [] - [] - [] - []

市区町村名

漁業地区名

市場種類コード

1:中央
2:地方
3:その他

開設者コード

1:地方公共団体 4:会社
2:漁協 5:個人
3:漁連

事業所名

ここから記入してください



- 1 魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を m^2 単位で記入してください。

	万	千	百	十	(m^2)
101	[]	[]	[]	[]	[]

2 11月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

		千 百 十 (業者)			
水産物卸売業者数	111				
	112				

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける仲卸業者及び売買参加者です。

魚市場内の複数の卸売業者に、同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3 魚市場における過去1年間（平成19年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入してください。

		万 千 百 十 (トン)			
数 量	総 数	121			
	うち、活魚	122			
	水 揚 量	123			
	搬 入 量	124			
	うち、輸入品	125			

数量は、過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の数量です。

また、第1次水揚量（内水面漁業、養殖量による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品も含めます。

		億 千万 百万 十万 (万円)			
金 額	総 額	126			
	うち、活魚	127			
	うち、輸入品	128			

金額は、数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額を記入してください。

4 11月1日現在で魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください

	海水殺菌装置	砕氷・製氷機	脱臭装置 排ガス処理装置	水産加工機器	その他
131	1	2	3	4	5

（海水殺菌装置）

海水の殺菌・滅菌を目的とした装置。

（砕氷・製氷機）

氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。

出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。

（脱臭装置、排ガス処理装置）

建物内の空気の清浄を目的とした装置。

（水産加工機器）

フィルマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置。

（その他）

上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器。

調査はここで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



2008年漁業センサス
流通加工調査

冷凍・冷蔵、水産加工場調査票(案)

平成20年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入してください。

【統計調査員】	月 日 ()
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	客体番号

市区町村名

漁業地区名

事業所の形態コード
1:個人
2:会社
3:漁協、漁連、生産組合
4:水産加工組合、加工連
5:その他の組合
6:その他

事業所の区分コード
1:冷凍・冷蔵工場のみ
2:水産加工場のみ
3:両方

事業所名

事業所の概要

- 1 過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に事業所で営んだ事業について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
また、そのうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

冷蔵倉庫業とは、冷凍・冷蔵施設で**寄託品の保管を行う**事業です。

冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他の
1	2	3	4	5	6	7
1	2	3	4	5	6	7

当てはまる番号をすべて○で囲みます。



営んだ事業	101
主とする事業	102

当てはまる番号を一つ○で囲みます。



- 2 11月1日現在の事業所における従業者数を記入してください。

			千 百 十 (人)			
常時従業者	男	111				
	女	112				



うち、外国人	113				
--------	-----	--	--	--	--

			千 百 十 (人)			
その他	男	114				
	女	115				



うち、外国人	116				
--------	-----	--	--	--	--

従業者とは、以下の ~ のいずれかに該当する人をいいます。

個人事業主及び無給の家族従事者

常勤の役員

雇用者（賃金・給与（現物給与を含む）を支給されている人）

出向・派遣受入者

なお、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生は含めません。

常時従業者とは、上記の 及び に加え、又は のうち、以下の ~ のいずれかに該当する人をいいます。

期間を定めずに従事している人

1か月を超える期間を定めて従事している人

平成20年9月と10月にそれぞれ18日以上従事した人

その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

例：1か月以内の期間を定めて雇用されている人、日々雇用されている人、等

なお、臨時雇用、日々雇用の場合でも、常時従業者の に該当する場合は、常時従業者に含めます。

うち、外国人には、常時従業者及びその他のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。

なお、技能実習制度（2年間）による場合は従業者に含めますが、外国人研修制度（1年間）による場合は従業者に含めません。

冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kW）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に水産物を低温保管した事業所、又は水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。

なお、冷蔵倉庫業の他、水産加工場で所有する自家用冷凍・冷蔵庫で加工原料や製品を保管した場合も含めます。

- 1 事業所の冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

201	営 業 用	自 家 用
	1	2

営業用とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めます。

自家用とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

- 2 過去1年間に事業所の冷凍・冷蔵庫を利用した利用者について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち在庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

寄 託 品								自 営 品	
漁 業 協 同 組 合 等	漁 業 者	水 産 加 工 業 協 同 組 合 等	加 工 業 者	卸 売 業 者	買 受 人	そ の 他			
利 用 者	211	1	2	3	4	5	6	7	8
主 な 利 用 者	212	1	2	3	4	5	6	7	8

当てはまる番号をすべて○で囲みます。

当てはまる番号を一つ○で囲みます。

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合、漁業協同組合連合会を含めます。
漁業者には、個人その他、会社等の法人を含めます。
水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。
加工業者には、個人その他、会社等の法人を含めます。

- 3 事業所の冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

冷蔵能力	221									
凍結能力	222									

（冷蔵能力の換算率） 1㎡ = 0.4トン

水産加工場

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。
該当しない場合はここで終わります。

調査日前1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、飼肥料をはじめ、生鮮水産物を凍結した冷凍水産物のことです。

- 1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

		生 産 量				
		301				
		万 千 百 十 (kg)				
冷凍水産物	①					
缶・びん詰	②					
寒 天	③					
油 脂	④					
ねり製品	かまぼこ類	⑤				
	魚肉ハム・ソーセージ類	⑥				
冷凍食品	⑦					
素干し品	⑧					
塩干品	⑨					
煮干し品	⑩					
塩蔵品	⑪					
くん製品	⑫					
節 製 品	⑬					
その他の食用加工品	塩辛類	⑭				
	水産物漬物	⑮				
	水産物つくだ煮類	⑯				
	乾燥 焙焼・揚げ加工品	⑰				
	その他	⑱				
飼 肥 料	⑲					
焼・味付のり	⑳					

億 万 千 (百枚)

原料の板のりに換算した枚数を百枚単位で記入してください。

- 2 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号 ①～㉔から一つ選んで記入してください。

年間販売金額第1位の水産加工品の種類	311	
--------------------	-----	--

- 3 過去1年間の事業所における水産加工品の販売金額について、当てはまる番号を一つで囲んでください。

	100 万円 未満	100 万 ～	500 万 ～	1,000 万 ～	5,000 万 ～	1 億 ～	5 億 ～	10 億 円 以上
321	1	2	3	4	5	6	7	8

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額のうち、**水産加工品のみ**の販売金額に該当する区分を○で囲んでください。

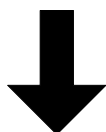
製造した水産加工品を**自社の他事業所へ加工原料**として提供した場合には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

- 4 過去1年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

- (1) 原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまる番号を一つで囲んでください。

	すべて 輸入品	30 % 未満	30 % ～	50 % ～	70 % 以上	すべて 国産品
331	1	2	3	4	5	6

2～6を選んだ方は(2)もお答えください。



- (2) 事業所における国産原材料の仕入れ先について、当てはまる番号をすべてで囲んでください。

	漁 業 者	漁 業 協 同 組 合	そ の 他
332	1	2	3

漁業協同組合には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。
漁業を営む事業所・世帯において、加工原料を自ら漁獲・収獲している場合は**その他**に含めてください。

5 製品製造の工程管理内容について

(1) 11月 1 日現在で、事業所における H A C C P 手法の採用状況について当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	採用 している	採用 していない
341	1	2

H A C C P (ハシップ) 手法

とは、食品製造における原材料から加工、出荷に至るまでの各段階で「安全性に害を与える要因を分析」し「危害発生の防止の上で重要な管理を行うべきポイント」を監視・記録することで、食品の安全性を確保する衛生管理手法のことをいいます。

1 を選んだ方は (2) もお答えください。

(2) H A C C P 手法を採用している理由について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	製品 の高付 加価値 化	事故等 のリスク 削減のため	輸出先 の基準を 満たすため	そ の 他
342	1	2	3	4

調 査 は こ こ で 終 わ り で す 。
ご 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た 。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：